

佐伯市番匠商工会BCP（事業継続計画）および参考資料

資料番号	資料名	備考
(1) モデルBCP（事業継続計画）		
資料①	役職員携行カード	
資料②	緊急時連絡先一覧	
資料③	避難ルートマップ	
資料④	災害対策本部メンバーリスト	
資料⑤	災害時業務リスト	
資料⑥	救護用品一覧表	
資料⑦	備蓄品リスト	
資料⑧	立ち入り判断基準	
資料⑨	帰宅判断基準	
資料⑩	感染症対策	
(2) 参考資料 ※災害発生時にそのまま使用／既に作成済の類似資料で代替可能		
参考①	消火設備の使用方法	
参考②	応急処置の方法	
参考③	負傷者情報一覧表	災害時にそのまま使用
参考④	職員安否情報等確認用リスト（帰宅・滞在・勤務可否含む）	
参考⑤	役員連絡先リスト（安否・事業所状況確認用）	
参考⑥	事務所被害報告シート	災害時にそのまま使用
参考⑦	被害情報確認シート	災害時にそのまま使用
参考⑧	社外被災者受け入れリスト	災害時にそのまま使用
参考⑨	訓練の種類	
参考⑩	地域のリスクの認識	
参考⑪	オフィスの固定対策要領	
参考⑫	水災における事前対策	
参考⑬	国土交通省出典：大規模水災害に関するタイムラインの流れ	

【資料①】役職員携行カード

初期動作のポイント

自身/家族の安全確保

- 1 自身/家族の安全確保
- 2 避難場所

家族の安否確認

3 家族との連絡手段

商工会への安否報告

- 4 安否報告ルール
- 5 会社への安否報告

商工会からの指示を待つ

6 指示があるまで原則待機

20XX年版

1 自身/家族の安全確保①

●屋内にいる時

1. 机やテーブルの下に隠れる
2. 慌てて外に飛び出さない

●屋外にいる時

1. カバン、着衣等で頭を保護する
2. 安全な建物へ避難、街路樹も活用
ガラス飛散範囲⇒建物高さの1/2
3. ブロック塀、門柱等に近寄らない

●電車・地下鉄に乗車している時

1. 吊革等にしっかりつかまる
2. 乗務員に従い冷静に行動(勝手に)ドアを開けたり線路に降りたりしない

●車に乗っている時

1. 徐々に速度を落とし左側に車を寄せ停止、エンジンを切る。
2. 揺れがおさまるまで車外に出ない。
3. 車から離れるときは、キーをつけたままにし、ロックはしない。

1 自身/家族の安全確保②

●揺れがおさまったら

1. 初期消火
※火が天井に届いていたらあきらめて逃げる
2. 救助活動
※周囲と協力し、無理のない所から
3. ドアや窓を開けて避難ルートを確保

●避難する場合は？

- ※避難前・避難後に人数確認を行う
- ※備蓄品を持って避難場所へ

2 避難場所

●勤務地を基点とした避難場所

避難場所	
広域避難場所	

●自宅を基点とした避難場所

避難場所	
広域避難場所	

※通勤途中の場合は各交通機関、警察、消防署の指示に従い、その地域の避難場所等に一旦避難する。

(参考)リスクの認識

リスクの種類	リスクの有無	被災想定	備考
南海トラフ地震	有	6強	死者17,000 30年以内の発生確率:70~80%
首都直下型地震	無		30年以内の発生確率:70~80%
その他地震	有	6弱以	30年以内の発生確率: 26 %
津波	無	mmの浸水	
洪水	有	5,00 mmの浸水	想定河川: 番匠川
土砂災害	有	危	区域に指定 参考HP:
火山噴火	有	降灰	cm/噴石有・無 想定活火山: 山

(参考)リスクを調べる際に有用なホームページ

- ◆内閣府ホームページ(南海トラフ・首都直下型地震)
- ◆各都道府県・市町村のホームページで公表されるハザードマップ
- ◆J-SHIS地震ハザードステーション(国立研究開発法人防災科学研究所):地震リスク
- ◆重ねるハザードマップ(国土交通省):洪水・土砂災害・津波リスク

(参考)リスクの認識

3 家族との連絡手段

電話、携帯メールが繋がらない場合、下記の電話会社サービスも利用する。
※震度6弱以上の地震等の災害発生時に開設される。

携帯版災害用伝言板の使い方

【伝言板登録】

各携帯会社のウェブ画面(iMENU, Ezweb, Yahoo!ケータイなど)のトップメニューにある「災害用伝言板」を開き、「登録」を選択して伝言を登録。

【伝言板確認】

同じく各携帯会社のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、「確認」を選択して被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る。
災害用伝言ダイヤルの使い方

【伝言録音・再生】

「171」をダイヤル
録音「1」⇒市外局番+自宅電話番号
再生「2」⇒市外局番+自宅電話番号

※音声ガイダンスに沿って操作

(参考)家族避難場所・連絡先

避難場所 : _____
電話番号 : _____
市・区役所 : _____
電話番号 : _____
病院 : _____
電話番号 : _____
会社連絡先 : _____
電話番号 : _____
親戚連絡先 : _____
電話番号 : _____
親戚連絡先 : _____
電話番号 : _____

・日頃から家族で話し合い、自宅から避難しなければならない時の避難先や連絡先を決めておくこと。

(参考)災害伝言板利用方法①

●NTTドコモの場合

1.サービスの開始
震度6弱以上の地震等の災害が発生すると「iMenu」のトップに「災害用伝言板」が追加される。

2.メッセージの登録
【メッセージの登録内容】

「無事です」「被害があります」「自宅に居ます」「避難所に居ます」の4つの中から選択。その他、全角100文字以内のコメントを登録可能。

【メッセージ登録可能件数】

1携帯電話番号で10件

10件を超えるメッセージは古いものから順次上書きされる。

(参考)災害伝言板利用方法②

3.メッセージの確認

「災害用伝言板」から安否情報を確認したい人の携帯番号を入力し、メッセージを確認する。

インターネット経由で全国から確認可能。

【メッセージ保存期間】

登録から最大72時間

●auの場合

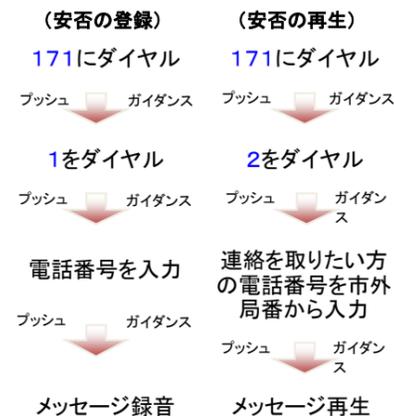
Ezwebのトップメニューから「災害用伝言板」を選択し、同様の操作を実施。

●softbankの場合

Yahoo!ケータイのトップメニューから「災害用伝言板」を選択し、同様の操作を実施。

(参考)災害用伝言ダイヤルの利用方法

●NTT災害用伝言ダイヤル(171) 伝言の登録 再生方法



(参考)

4 安否報告ルール<例>

●安否確認システムで、必ず会社へ自身の安否を報告する。

●安否確認システムを利用できない場合は、緊急連絡網により安否報告を行う。

※報告内容 ⇒「会社への安否報告」参照

●会社にいる従業員は、避難後に点呼を実施の上、点呼結果をとりまとめて隊長に報告する。

5 安否報告内容

安否報告内容:

- ・自己(及び家族)の安否(現在の居場所、負傷の有無/程度)
- ・その他(他の社員の安否情報、周辺の火災発生状況・公共交通機関に関する情報など)

6 従業員行動指針

●商工会からの指示があるまでは、安全な場所待機し、自らの判断で勝手に動かない。

●自分自身、及び家族の人命の安全確保を第一として行動する。

(参考)帰宅指示・判断基準

●帰宅経路の安全が確認できるまで帰宅しない

・明るいうちに自宅到着できる者は、帰宅経路の安全が確認できたら帰宅可とする。(徒歩毎時2.5kmで計算すると10kmは4時間を要する)

・明るいうちに自宅到着不可の者は本社または避難場所で宿泊させ、翌朝帰宅する。

・帰宅者は飲食料等を携行する。

・余震が収まってから帰宅する。

・同一方向はできるだけ集団帰宅する。

・幹線道路を使い帰宅する。

・帰宅したら会社に無事帰宅した旨、報告する

≪夜間の行動は避けること!≫

(参考)地震発生時の被災想定

想定項目	震度等 詳細に〇	5強	6弱	6強	7以上	津波浸水
		1				
スタッフ	-	数人出社できず	相当数出社できず			
建物	1981年5月以前建築	片付けに数日	使用不可			
建物内部	上記以外		片付けに数日	使用不可		
電力			使用不能			使用不可
水			使用不能			
ガス	プロパン		使用不能			
	都市ガス		使用不能			
一般電話	電話交換機を使用し		転換により繋がりにくい状態			使用不可
	上記以外		電力に準じる			使用不可
携帯電話			転換により繋がりにくい状態			使用不可
端末			電力に準じる		損壊	使用不可
ネットワーク			電力に準じる		損壊	使用不可
交通	鉄道		点検のため数日間停止		使用不可	
	道路		通行制限により一部使用不可			

(参考)地震発生時の被災想定

【資料②】緊急時連絡先一覧

■社会インフラ

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
電気	九州電力(株)佐伯営業所		0120-986-506	佐伯市駅前2-6-53	https://www.kireilife.net/contents/branch/oita/saiki.html	
水道	佐伯市水道局		22-3358	佐伯市中村南町1番1号	http://www.city.saiki.oita.jp/	休日・夜間 23-0504
ガス	(株)ダイプロ南部販売(宇目支所)		22-0494	佐伯市常盤南町5番7号	http://www.daipro.co.jp/outline/service/	
ガス	JA大分佐伯ガスセンター(直川支所)		46-2528	佐伯市弥生大字門田1286	https://jaoita.or.jp/life/other/lpg	
電話	NTT西日本大分支店		0120-116116	大分市長浜町3-15-7	http://www.ntt-west.co.jp/corporate/disa.html	(相談) 116、(故障) 113
IT/通信	ケーブルテレビ佐伯		22-9811	佐伯市池船町20-3	http://www.saiki.tv/	

■交通機関、道路

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
鉄道(JR)	JR佐伯駅		22-0142	佐伯市駅前2-6-35	https://www.jrkyushu.co.jp/company/index.html	
バス	大分バス(株)佐伯営業所		22-1852	佐伯市駅前2-10-6	https://www.oitabus.co.jp/	(大分) 097-534-6167
タクシー	弥生タクシー		46-1313	佐伯市弥生大字上小倉1134-4		
タクシー	宇目タクシー		54-3759	佐伯市宇目大字小野市2807-8	http://www.shokokai.or.jp/44/4440410004/index.htm	
道路	佐伯河川国道事務所		22-1880	佐伯市長島町4丁目14-14	http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/	

■消防、警察、自治体

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
消防	佐伯市消防署		22-3301	佐伯市鶴岡西1-223	http://www.city.saiki.lg.jp/syoubo119/	
警察	佐伯警察署		22-2131	佐伯市鶴望2825-4	http://www.pref.oita.jp/site/keisatu/saikisho.html	
役所・役場	佐伯市役所・商工振興課		22-3943	佐伯市中村南町1-1	http://www.city.saiki.or.jp/	

■近隣医療機関

項目	名称	診療科	連絡先	所在地	URL	備考
救急指定	西田病院		22-0180	佐伯市鶴岡西町2-266	http://www.nisida-med.jp/	
救急指定	長門記念病院		24-3000	佐伯市鶴岡町1-11-59	http://www.nagato.or.jp/	
救急指定	佐伯中央病院		22-8846	佐伯市常盤東町6-30	http://www.saikichuo.net/	

■近隣宿泊施設

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
ホテル	AZ大分佐伯店		20-3301	佐伯市上岡字椀ノ木1476-1	http://www.az-hotel.com/saiki/	
ホテル	ルートイン佐伯駅前		050-5847-7410	佐伯市駅前2-6-40	https://www.route-inn.co.jp/hotel_list/oita/index_hotel_id_630/	
ホテル	金水苑		22-8181	佐伯市駅前2-4-13	https://hkse.jp/	

■業務関連

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
全国連	全国商工会連合会		03-6268-0088	東京都千代田区有楽町一丁目7番1号 有楽町電気ビル北館19階	https://www.shokokai.or.jp/	
都道府県連	大分県商工会連合会		097-534-9507	大分市金池町3-1-64 大分県中小企業会館5F	http://www.oita-shokokai.or.jp/index.html	
近隣商工会	佐伯市あまへ商工会		33-0217	佐伯市鶴見大字地松浦1348	http://amabe.oita-shokokai.or.jp/	
近隣商工会議所	佐伯商工会議所		22-1550	佐伯市向島1-10-1	http://www.saikicci.or.jp/	
損害保険	大分県火災共済協同組合		097-537-7122	大分市金池町3-1-64 大分県中小企業会館4F	http://kenkyosai-oita.sakura.ne.jp/	

■金融機関

項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
銀行	大分銀行佐伯支店		22-3311	佐伯市城下西町2番7号	http://www.pkg.mavitime.co.jp/oitabank/	
信用金庫	大分信用金庫やよい町支店		46-2650	佐伯市弥生大字上小倉1123-1	http://www.oita-shinkin.co.jp/	
政府系	日本政策金融公庫大分支店		097-535-0331	大分市都町2-1-12	https://www.jfc.go.jp/	

■各種連絡先（設備、システム、物流、損害保険など）

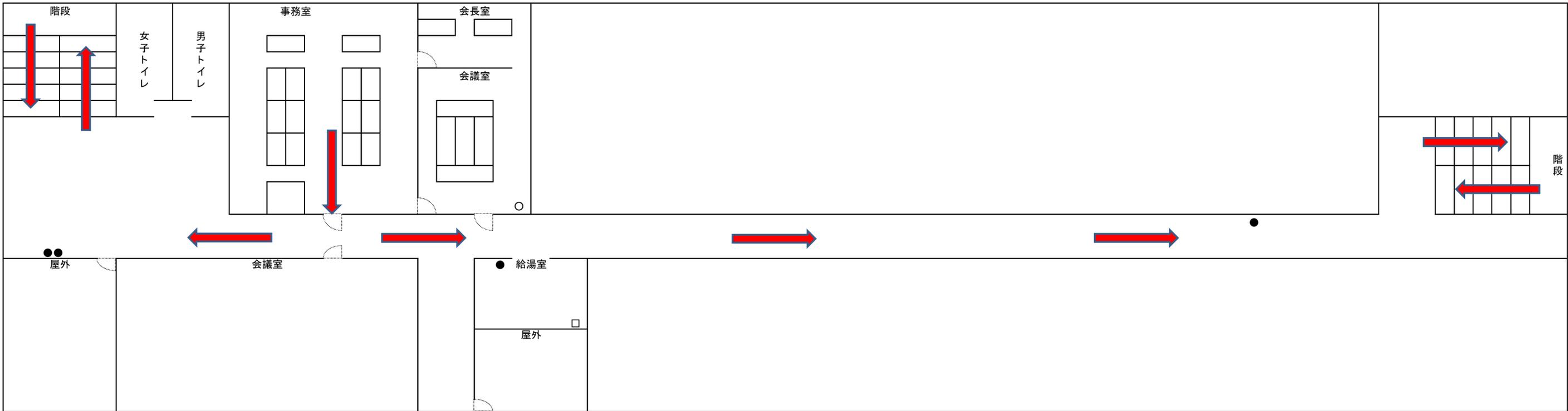
項目	名称	担当	連絡先	所在地	URL	備考
郵便局	佐伯郵便局		22-0171	佐伯市中村東町8-35	https://map.japanpost.jp/p/search/dtl/300172004000/	
郵便局	弥生郵便局		46-0042	佐伯市弥生大字上小倉1178	https://map.japanpost.jp/p/search/dtl/300172080000/	
宅配便	ヤマト運輸 弥生センター		0570-200-000	佐伯市弥生大字上小倉1075-1	http://www.e-map.ne.jp/p/yamato01/shop_dtl.htm?p_f1=1&kid=095240	
宅配便	佐川急便(株) 佐伯営業所		22-4001	佐伯市西浜10834-34	https://www.z.sagawa-exp.co.jp/send/branch_search/tanto/locate/?a_id=4151&s_id=0-62	

■近隣の避難所

項目	連絡先	所在地	URL	備考	
本所	道の駅やよい	46-5951	佐伯市弥生大字上小倉898番地1	http://michinoeki-yayoi.com/index.html#sinchaku	地震・津波・風水害
	上野小学校	46-0078	佐伯市弥生大字小倉456	http://syou.oita-ed.jp/saiki/kamino/	地震・津波・風水害
本匠	堂ノ間地区ふれあいセンター	なし	佐伯市本匠大字堂ノ間309番地1		地震・津波・風水害
宇目	河尻集会センター	なし	佐伯市宇目大字千束725番地1		地震・津波・風水害
直川	直川地区公民館	58-3393	佐伯市直川大字赤木74番地1		地震・津波・風水害

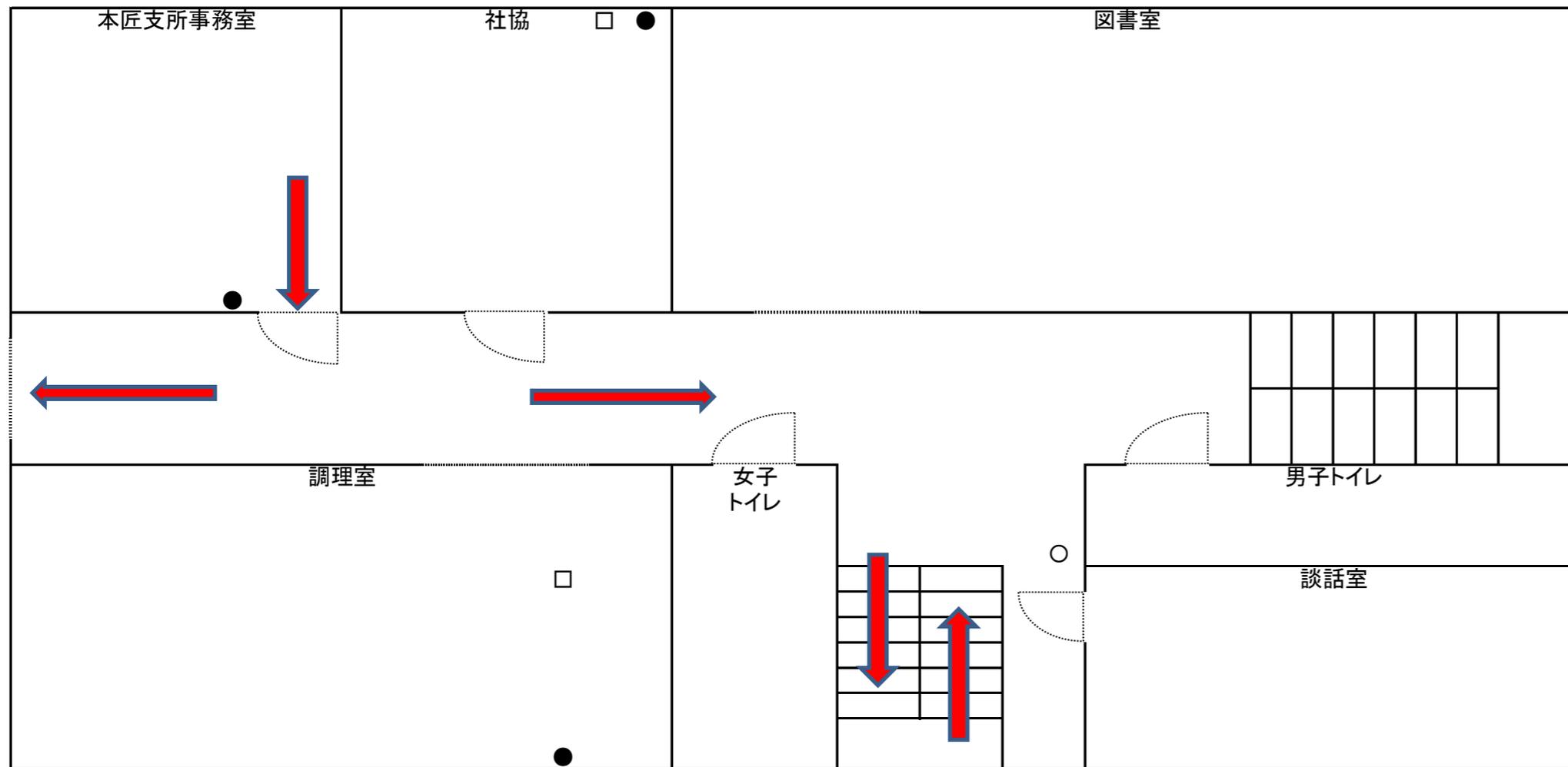
【資料③】避難ルートマップ

避難ルートマップ 本所



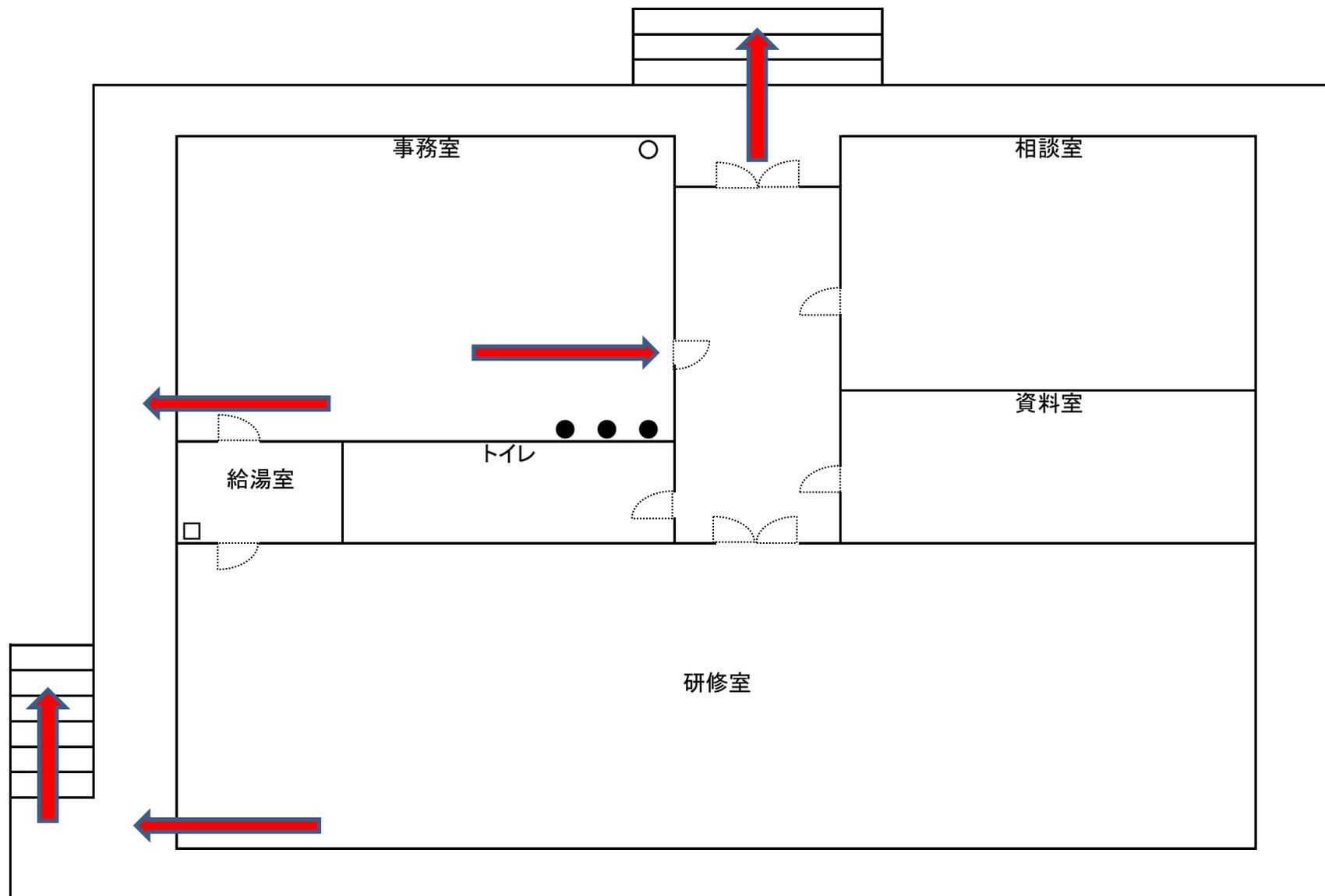
- 【凡例】**
- 消火栓
 - 消火器
 - ★ 危険区域
 - ☆ サーバー
 - カス元栓
 - 電気ブレーカー
 - △ 防火扉
 - 避難ルート

避難ルートマップ 本匠支所



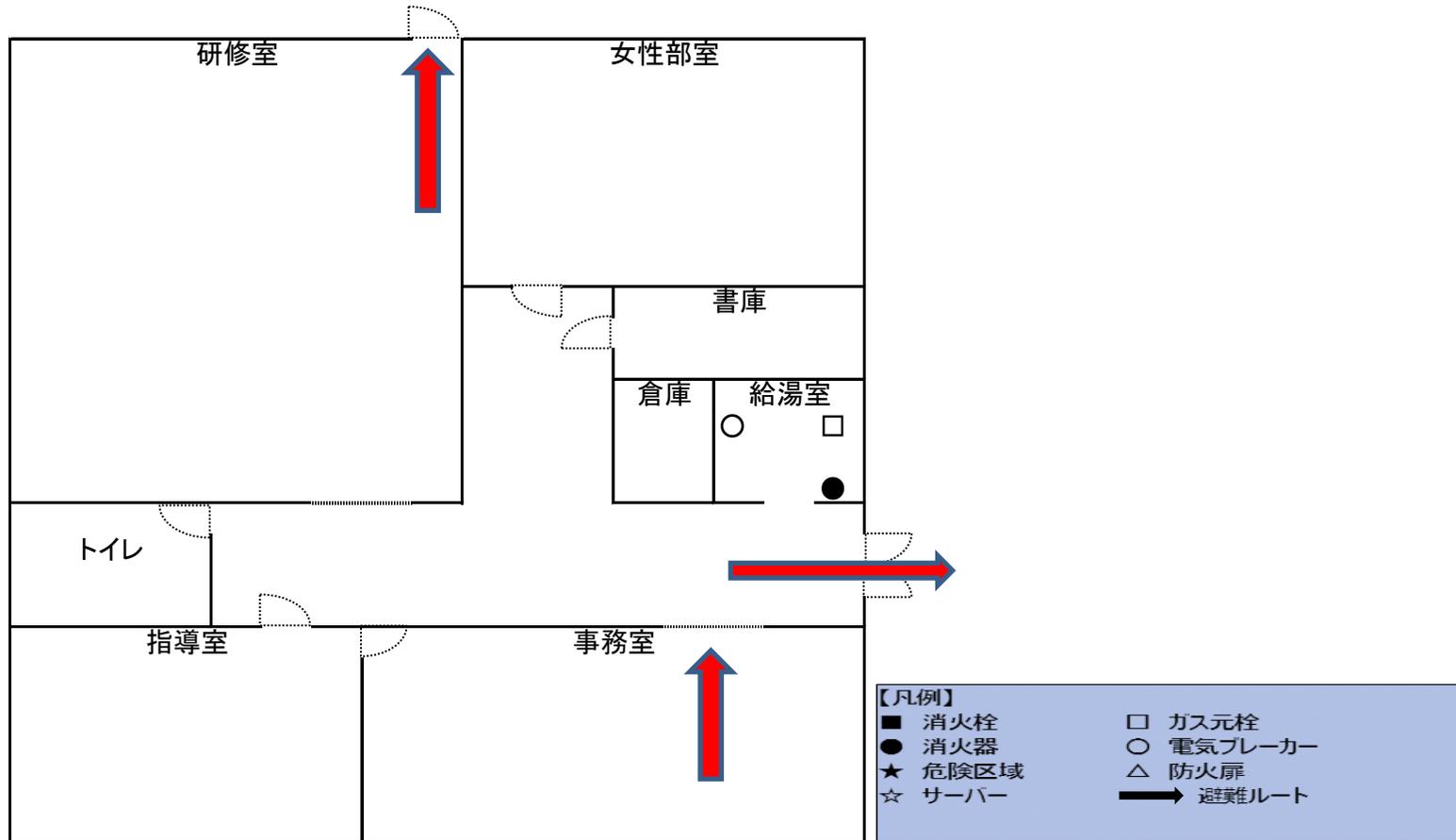
- 【凡例】
- 消火栓
 - 消火器
 - ★ 危険区域
 - ☆ サーバー
 - ガス元栓
 - 電気ブレーカー
 - △ 防火扉
 - ➡ 避難ルート

避難ルートマップ 宇目支所



- 【凡例】
- | | |
|--------|-----------|
| ■ 消火栓 | □ ガス元栓 |
| ● 消火器 | ○ 電気ブレーカー |
| ★ 危険区域 | △ 防火扉 |
| ☆ サーバー | ➡ 避難ルート |

避難ルートマップ 直川支所



【資料⑥】救護用品一覧表

No.	品目	備蓄量	配置場所				更新		備考
			弥生本所	本匠支所	宇目支所	直川支所	更新日	次期更新予定日	
1	ICボトル(簡易除菌洗浄器、1本)	2	1		1		21.03.17	25.10.31	
2	救急三角巾(3枚)	4	1	1	1	1	21.03.17		
3	伸縮包帯(4裂3個)	4	1	1	1	1	21.03.17		
4	ガーゼ(3枚)	4	1	1	1	1	21.03.17		
5	救急絆創膏(10枚入2箱)	4	1	1	1	1	21.03.17	24.05.31	
6	脱脂綿(5g入3袋)	4	1	1	1	1	21.03.17		
7	紙絆創膏(1個)	4	1	1	1	1	21.03.17		
8	清浄綿(5枚)	2	1		1		21.03.17	23.07.31	
9	綿棒(10本入3袋)	4	1	1	1	1	21.03.17		
10	体温計(1本)	2	1		1		21.03.17		
11	災害用ハサミ(1本)	4	1	1	1	1	21.03.17		
12	とげ抜き兼用ピンセット(1本)	4	1	1	1	1	21.03.17		
13	救急お手当法(1冊)	2	1		1		21.03.17		
14	ナイロン製バッグ	2	1		1		21.03.17		
15	ケース	2		1		1	21.03.17		

※弥生本所・宇目支所は【資料⑦】備蓄品リストの「災害少人数用救急箱(5~10人用)」を、本匠支所・宇目支所は「救急セットB」を配置する。

【資料⑦】備蓄品リスト

項目	保管場所 (弥生本所)	保管場所 (本匠支所)	保管場所 (宇目支所)	保管場所 (直川支所)	合計	点検月日	補充月日
緊急避難用(リュックサック)33品							
緊急用ホイッスル、2wayドライバー、 カッターナイフ、圧縮袋、ポーチ(小銭 入れ)、筆記用具セット、歯ブラシ×3 本、綿棒×20本、マスク×3枚、携帯用ト イレ×3個、ポリ袋×3枚、紙皿×3枚、プ ラカップ×5個、割り箸×3膳、スプー ン・フォークセット(各1)、懐中電灯ラ ンタン(単三電池2本)、ラバー手袋、お 薬ケース、布テープ、レインポンチョ、 EVAサンダル、アルミシート、アルミブラ ンケット、エア枕、ウォータータンク (5L)、ラップ、アルミホイル、タオ ル、ティッシュ、ルーペ、防水スマホ 袋、使い捨て下着、リュックサック	6	1	2	2	11	21.3.10	補充対象品 (携帯用トイレ) 23.10.2 (電池) 30.11.31
食料品の備蓄 ※人数×3日分							
レトルト食品(3食×3日分)7年保存	9	1	4	2	16	21.3.10	28.12.31
スーパー保存水(1.5L×8本)5年保存	9	1	4	2	16	21.3.10	26.8.31
防災・復旧用品							
懐中電灯(電池がどれでもライト)	1	1	1	1	4	21.3.10	
工事用粘着テープ	1	1	1	1	4	21.3.10	
テント	3	—	—	—	3	21.3.10	
3wayポンチョ	11	1	4	2	18	21.3.10	
保護・救援用品							
災害少数人数用救急箱(5~10人用) ※資料⑥							
ICボトル(簡易除菌洗浄器、1本)、救急三 角巾(3枚)、伸縮包帯(3個)、ガーゼ(3 枚)、救急絆創膏(10枚入2箱)、脱脂綿(5g 入3袋)、紙絆創膏(1個)、清浄綿(5枚)、 綿棒(10本入3袋)、体温計(1本)、災害用 ハサミ(1本)、とげ抜き兼用ピンセット(1 本)、救急お手当法(1冊)、ナイロン製 バッグ	1		1		2	21.3.17	補充対象品 (ICボトル) 25.10月 (カットパン) 24.5月 (清浄綿) 23.7月
救急セットB ※資料⑥							
三角巾(1枚)、伸縮包帯(L1、M2個)、ガー ゼ(1枚)、油紙(2枚入)、救急絆創膏(10枚 入1箱)、脱脂綿(5g入1袋)、紙絆創膏(1 個)、綿棒(10本入1袋)、ハサミ(1本)、と げ抜き兼用ピンセット(1本)、ケース		1		1	2	21.3.10	補充対象品 (カットパン) 24.5月
不織布毛布	9	1	2	2	14	21.3.10	
生活用品、その他							
手回し充電ラジオ(ソーラーパネル付、携帯電話充電 可)	1	1	1	1	4	21.3.10	
多機能ナイフ(ナイフ、缶切り、栓抜き他)	1	1	1	1	4	21.3.10	
乾電池(単1、単2、単3、単4)セット	1	1	1	1	4	21.3.10	30.7.31
ウェットティッシュ(5年保証超防災用)	1	1	1	1	4	21.3.10	25.11.24
不織布マスク	36	2	8	4	50	21.3.10	
簡易除菌洗浄機(ICボトル)	3	1	1	1	6	21.3.10	25.10.31
生理用ナプキン	1	1	1	1	4	21.3.10	
消毒剤(ウィル・ステラVHジェル)	1	1	1	1	4	21.3.10	
ゴミ袋(45L、30枚入)	1	1	1	1	4	21.3.10	
トイレトペーパー(10年保証備蓄用、12個)	1	1	1	1	4	21.3.10	

【資料⑧】 立ち入り判断基準

<判断基準> 原則、建物の外観を目視で確認し、以下事象が見られた場合は立ち入り不可とする

■立ち入り不可のケース（危機管理要領 表4_建物の安全簡易診断基準参照）

No.	確認事項	チェック結果
1	店舗周辺で地滑り、がけ崩れ、地割れ、噴砂、液状化が見られるか？	
2	建物の沈下又は建物周辺の地盤が沈下しているか？	
3	建物が傾斜していないか？	
4	床が損傷しているか？	
5	柱が損傷しているか？	
6	壁が損傷しているか？	
7	火災は発生しているか？	
8	危険物・ガスが漏洩しているか？	

【資料⑨】 帰宅判断基準

<判断基準> 原則、下表のチェック結果をもとに危険がないと考えられる場合に帰宅を認める

■ 収集すべき情報

- ① 行政の指針（佐伯市防災危機管理課が警戒レベル3以上を発令したとき）
- ② 警報の発生状況（厳戒態勢（レベルB）又は緊急態勢（レベルA）が発令されたとき）
- ③ 自宅までの経路の状況（道路や橋梁の通行可否、火災発生エリア、建物崩壊エリア等）
- ④ 自宅までの距離
- ⑤ 日没までの時間
- ⑥ 天候

■ 徒歩で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	<帰宅先までの距離> <input type="checkbox"/> 帰宅先までの距離が20km以内か。（2.5km/時で歩行時間約8時間）	
2	<日没時刻> <input type="checkbox"/> 日没までに帰宅できるか。 （参考）震災時の徒歩帰宅の場合の速度の目安は約2.5km/時。	
3	<気候> <input type="checkbox"/> 数時間先の気候（天気・気温）について、警報等は出していないか。	
4	<帰路の状況> <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。 <input type="checkbox"/> 帰路の治安悪化に関する情報はないか。	
5	<帰宅時の装備> <input type="checkbox"/> ヘルメット（あるとベター） <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器 <input type="checkbox"/> 役職員携行カード <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 歩きやすい靴 <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> レインコート（天候により） <input type="checkbox"/> 水、食糧等 <input type="checkbox"/> 緊急避難用リュックサック	
6	<同行者の有無> <input type="checkbox"/> 同方向への帰宅者がいるか。	

■ 車で帰宅する場合

No.	確認事項	チェック結果
1	<帰路の状況> <input type="checkbox"/> 帰路に大規模な火災が発生していないか。 <input type="checkbox"/> 帰路の道路状況（通行禁止区域、落橋、混雑等）の情報はどうか。	
2	<停電> <input type="checkbox"/> 停電していないか。	
3	<帰宅時の装備> <input type="checkbox"/> 車に燃料は十分にあるか。 <input type="checkbox"/> 携帯電話等の通信機器及び役職員携行カード <input type="checkbox"/> 小銭、テレホンカード（公衆電話用） <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> レインコート（天候により） <input type="checkbox"/> 水、食糧等 <input type="checkbox"/> 緊急避難用リュックサック	
4	<同行者の有無> <input type="checkbox"/> 同方向への帰宅者がいるか。	

【資料⑩】感染症対策

1. 感染症の拡大防止策

手洗いの徹底 マスクの着用	<input type="checkbox"/> 利用者・職員にマスク着用の徹底を周知し、着用していない場合は配布等に努めている。 <input type="checkbox"/> 消毒備品等を各所に設置し、利用者・職員に手洗いや手指消毒の徹底を周知している。 <input type="checkbox"/> 共用タオル等を使用しない、衣類をこまめに洗濯するなど、衛生管理を徹底している。
ソーシャル ディスタンス	<input type="checkbox"/> 行列整理や床の目印表示等により、混雑を回避している。 <input type="checkbox"/> 座席の工夫など従業員も含めて対人間隔を確保し、大声で会話しないよう周知している。 <input type="checkbox"/> 対面が想定される場所への遮蔽物の設置等で接触機会を低減している。
3密※を 避けた行動 ※密閉、密集、密接	<input type="checkbox"/> 3密が予想される場合、入場者数・滞在時間の制限等を行っている。 <input type="checkbox"/> 扉や窓を開け、扇風機を外部に向けて使用するなど、定期的な換気を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員の休憩室等はできる限り換気を行い、対面で食事・会話をしないようにしている。
施設の 清掃・消毒	<input type="checkbox"/> 複数の人が触れる場所や物品を極力減らし、難しい場合はこまめに清掃・消毒している。 <input type="checkbox"/> 使用済みマスク等は、ビニール袋に入れて縛るなど密閉して捨てるよう表示している。 <input type="checkbox"/> 清掃・消毒・ごみ回収は手袋・マスクを着用し、事後に手洗い・手指消毒を徹底している。
利用者・職員の 体調管理	<input type="checkbox"/> 利用者で熱がある者は入場をご遠慮いただくようお願いするなどの取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 職員に出勤前に検温や体調確認をさせ、毎日報告させている。 <input type="checkbox"/> 体調不良の職員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている。 <input type="checkbox"/> 所轄の保健所の確認や来場者の把握など、感染者等の発生に備えた取組を行っている。

【留意点】

新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等については、平時より拡大防止を図ることが重要であり、事業を実施していくためには、商工会館・事業所等での感染防止対策の徹底を図る必要がある。適宜各自治体が定めるガイドライン等も参考にしつつ、上記のような基本動作については予め徹底しておく。

2. 感染症発生時の対応

時間	優先業務とすべき事項	職員の対応	
発生前 (海外発生フェーズ)	<ul style="list-style-type: none"> 社内における感染防止策の周知徹底 感染流行国への出張禁止 安否確認システムによる連絡先の整備・確認および職員の家族に要介護者がいるか等の属性情報の整理 危機対策本部の設置準備 必要備品（マスク・消毒薬等）の調達 優先業務のランク付け 在宅勤務可能業務の選定 人手不足に備えた業務体制の構築（ジョブローテーション等） 	<<勤務中>> ■ マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策 ■ 安否確認システムの確認への返信	<<勤務外（通勤中含む）>> ■ マスク着用、手洗いの励行等感染予防対策 ■ 安否確認システムの確認への返信 ■ 子供・要介護者等、感染が拡大した際の対応の検討
		<<勤務中>> ■ 感染防止対策の徹底 ■ 公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討 ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> ■ 感染防止策の徹底 ■ 公共交通機関をなるべく避ける ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ■ 不要不急の外出を避ける ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。
発生 当日	<ul style="list-style-type: none"> 安否確認システムの発動（役職員の出社体制を指示・確認） 通勤手段の確保（徒歩・自転車・自家用車を使用可能な場合優先する） 危機対策本部の設置（正副会長や役員と連絡をとり、事務局長や経営指導員責任者は参集） 削減候補業務を段階的に縮小、テレワークの指示 レイアウトの変更、時差出勤の指示 	<<勤務中>> ■ 感染防止対策の徹底 ■ 公共交通機関を利用しない方法の検討・時差出勤の検討 ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。	<<勤務外（通勤中含む）>> ■ 感染防止策の徹底 ■ 公共交通機関をなるべく避ける ■ 安否確認システムへ必ず返信及び家族に留意事項がある場合の報告 ■ 不要不急の外出を避ける ※感染拡大防止を第一に考え、体調に不安がある場合は無理せず自宅待機とする。

【参考①】 消火設備の使用方法

(1) 大きな声で周囲の人に火災を知らせ、消火器を火災場所まで運ぶ。

(2) 消火器の安全栓を抜く。



(3) ホースをはずし火元に向ける。

この事業所の消火器は、『〇〇〇』にあります。



(4) レバーを強く握る。



(5) 放射する。



<参考：横浜市消防局資料から抜粋>

【注意】

天井に炎が到達または天井に燃え移った時点で、消火器による消火活動はできないと判断する。
その場合、速やかに初期消火を中止し避難をはじめ。

第②章

おぼえておこう! 応急手当

身につけよう!

大きな災害が発生して、けがをしてしまった場合、また、自分は無事でも家族やまわりの人がけがをしている場合、どうすればよいのでしょうか。災害時は、ふだんのように救急車がかけつけられないことも考えられます。こうした場合にそなえて、少しでも役立つ応急手当の知識を身につけておきましょう。

ケガの
応急手当

やってみよう!

1. 切りキズ
などによる出血

キズの手当ては、1.出血を止める(止血)、2.細菌の侵入を防ぐ、3.痛みをやわらげる、という3つのことを意識しながら行おう。



応急手当

- 1.出血しているところを完全におおえる大きさの清潔なガーゼや布でやや強く押さえ、止血する。
- 2.患部を清潔に保ち、包帯などを巻く。
- 3.じかに血液にふれないようにビニール・ゴム手袋を利用する(スーパーの袋などでもよい)。

応急手当

- 1.流水で患部を冷やすのがいちばんよいが、水が出ないときは、水でぬらした清潔なガーゼやタオルをひんぱんにかえて冷やす。
- 2.水ぶくれは破らないようにする。
- 3.消毒ガーゼがきれいな布を当て、包帯をする。



2. やけど

- ※キズ、やけどの場合、やたらに医薬品を使うのはやめよう。
- ※キズ口に直接、わたやチリ紙を当てないようにしよう。
- ※キズややけどがひどい場合は、病院でみてもらおう。

3. 骨折

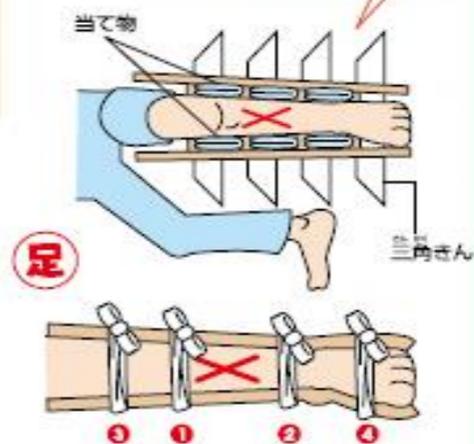
応急手当

- 1.出血している場合は、その手当てをする。
- 2.梶子を当て、痛くない位置で固定する。梶子は骨折部分の上下の関節より長くする。
- 3.骨が突き出しているときは、その上に清潔なガーゼか布を当て、シーツなどでくるむ。



- 1.骨折しているところに梶子を当て、その上下を固定する。
- 2.三角さんでつったあと、さらに腕部に固定する。

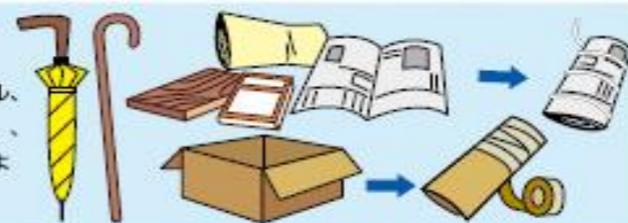
固定のしかた



- 1.骨折しているところの両側から、梶子を当てる。
- 2.関節が動かないよう、1~4の順番に固定する。

★梶子とは?

棒や板、かさ、ステッキ、段ボール、新聞紙・雑誌(かたく折り曲げる)、毛布などで、骨折部分を動かさないように固定できるもの。



- ※骨折したところはしっかり固定して動かさないようにする。
- ※骨がとび出している場合でも、元に戻さない。また、キズ口は洗わないこと。
- ※固定が強すぎると血の流れが悪くなり、危険な場合もあるので注意する。その観察のためにも、指先や足先が見えるようにしておく。

4. ねんざ

1 三角せん1枚を用意し、たたみ、中央を足のうらに当てる。

2 三角せんの両はしを足首のうしろに引き上げて交差させる。

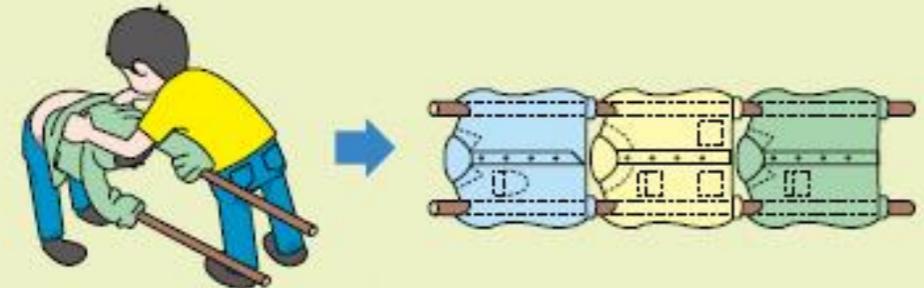
3 三角せんの両はしを足の甲の方に回し、足首で交差させ、両はしをかかととななめにまいた三角せんの内側に通す。

4 三角せんの両はしを足首の前で結ぶ。

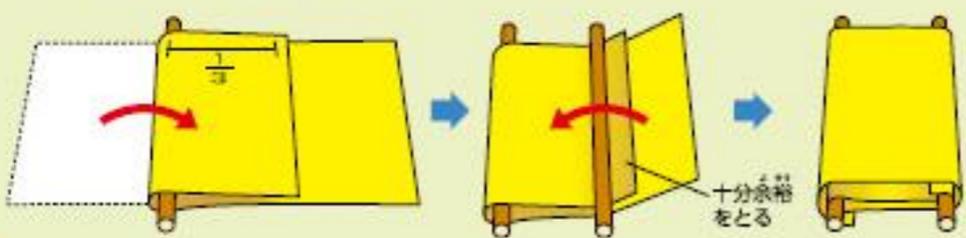
応急手当
 1. 患部は冷やす。
 2. くつはそえ木のかわりになるので、ぬがないでその上から三角せんや布などで固定する。

知っていると便利! ★応急担架のつくり方

1 上着を活用
 図のように2本の棒に上着を通します。
 動けない人を運ぶときは、衣類や毛布を使って、応急担架をつくります。



2 毛布を活用
 毛布の1/3のところを棒を置いて、毛布をおり返してつくります。



救急箱の中身

※救急箱はいつも同じ場所に置こう。
 ※薬やガーゼは使ったらすぐに補充しよう。
 ※年1回は点検をして、古くなった薬やガーゼはすてよう。
 ※救急箱の中身は必要最低限なものだけにしよう。

★救急箱の中身の例



読みもの 病院がいっぱいになってしまうと…

災害が発生して多くのけが人ができると、みんな病院でみてもらおうと考えます。しかし、病院やお医者さんも被害を受け、十分な手当ができないことも考えられます。ただでさえけが人がいっぱい、しかも施設が使えない。そのとき問題になるのが、本当に手当を必要としている人と、そうでない人の区別です。災害時に、けがの程度に応じて患者を区分していくことを「トリアージ」といいます。トリアージはフランス語で、もともとはコーヒー豆を選別するときに使われた語だと言われており、現場ではトリアージ・タグという色のついたラベル(黒、赤、黄、緑)を使って患者の区分をします。わたしたちも本の知識ばかりでなく、講習会などで体験することによって、応急手当や救出救護の知識を身につけ、いざというときに役立てたいものです。



トリアージ・タグ

どうする?!

人がたおれていたら

① 意識があるか調べる

意識を確認する方法

- ★よびかけて返事をするか。★話はできるか。
- ★手足を動かしているか。★痛みに対して反応はあるか。

② 協力してくれる人を求める

★意識の障害があった場合は、すぐその場で救急車をよんでもらったり、大声でまわりの人をよびます。

③ 5つの観察と応急手当

1. 周囲の安全の確認

たおれている場所が安全かどうかを確認し、危険な場所ならば安全な場所へ移動する。

3. 救急車をよぶ

まず、意識の有無を確認し意識がなければ近くの人に協力を求め、救急車をよぶ。

4. 気道の確保

意識がないときは呼吸がしやすいよう空気の通り道を確保する。

5. 呼吸の確認

呼吸が止まっていたら、すぐに人工呼吸を行う。

2. 出血の確認

大出血があったらすぐ止血する。

- ※救急車のよびかたは、P8-9をみてください。
- ※口の中は何かがつまっていたら取りのぞき、血液や唾液はみそとる。
- ※よびかけても反応がないときは、むやみにおこしたり、ゆすったりしない。
- ※気道を確保するときは、頭をムリに後ろにそらせないようにしよう。
- ※正しい方法を身につけるために、応急手当の講習会を受けよう。

人工呼吸

① 顔面と人差し指で、鼻をつまみ鼻の孔をふさぎます。



② 大きく口をあけて鼻かに1回2秒かけて息を吹き込みます。



③ 風防なく息が入れば、もう一回息を吹き込みます。



胸骨圧迫

① 胸の真ん中に手を置き、臍部に体重をかけ、胸骨が4cm~5cm下方に圧縮されるように1分間100回の早さで30回圧迫します。(834頁がよい)



② 30回圧迫後、人工呼吸を2回行います。この操作を一定回数で繰り返します。



AEDが到着したら

① 電源を入れる



② 電極パッドを胸に貼る
体が汗や水で濡れていたらタオルで拭きます。



③ 電気ショックの必要性をAEDが判断した場合は、心臓除細動中は誰も触れないようにします。



④ ショックボタンを押す
誰も触れないことを確認したら、画面に指示されているショックボタンを押します。



⑤ 以後は、AEDの音声メッセージに従います。

※心臓除細動(人工呼吸・胸骨圧迫)とAEDの手順は、緊急時に引続くか、何らかの応急や目的のある仕事(例えば、搬送などの作業)が出現したり、搬送どりの場が出現するまで続けます。

★夏は暑さによる脱水症状に注意

夏場、注意しなければならないのは、暑さによる脱水症状です。暑いと人間は汗をかきますが、このとき水分や塩分は体の外へ出てしまいます。すると、血液が流れにくくなってしまい、その分血液を送り出すために心臓に負担がかかります。脱水症状をおこすと、頭痛、ほき気、めまい、体温上昇、だるさなどの症状があらわれ、意識がなくなり危険な状態になることもあります。ムリをして長い時間炎天下で運動をしないことがいちばんですが、次のことに注意しましょう。

- ★外ではぼうしをかぶり、長い時間炎天下で過ごさない。
- ★予防法
★こまめに水分をとる。スポーツドリンクは糖分や塩分、ミネラルも同時に補給できます。
- ★寝不足やつかれているときにムリをしない。
- ★応急手当
★休息 楽な状態に安静をさせ、衣服をゆるめたりぬがせたりして、体を冷やす。
- ★冷却 エアコンの入っているところ、風通しの良い日かげなどすずしいところで休ませる。
- ★水分補給 水が飲めるようであれば、少しずつ水を飲ませる。
- ※はき気がある、意識がはっきりしないなど、危険な状態であれば救急車をよぼう。

【こたえ=○】 体のなかの大きな血管がやぶれていたり、腎臓がきずついたりすることがあるため、ムリに動かすとかえって危険。すぐに救急車をよび、まわりの安全確保につとめよう。

【参考③】 負傷者情報一覧表

月 日 時 分 (24時制) 時点

No.	受付日時	所属	負傷者氏名	救護所受付者	負傷箇所	症状	処置	ステータス			備考
								症状	病院への搬送状況	家族への連絡状況	
1								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
2								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
3								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
4								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
5								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
6								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
7								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
8								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
9								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	
10								軽 ・ 重 ・ 死	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	不要 ・ 未 ・ 済(/、 :)	

【参考⑥】事務所被害報告シート

確認場所		確認日時	
確認者			

確認項目		確認内容	確認結果	備考
火災		火災発生の有無		
執務室内	床	陥没		
	壁・扉	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
	PC端末	破損、落下、転倒		
	その他			
廊下	床	陥没		
	壁	亀裂、破損		
	天井パネル	亀裂、落下		
給湯室	ガス	漏れ、ガス臭		
	水道	漏水、水が出るか		
	その他	棚、食器の破損		
トイレ	水道	漏水、水が出るか		
	便器など	破損		
	窓・鏡	ガラス割れ		
建物全体	建物躯体	倒壊の恐れ		
	電力	停電		
	エレベーター	停止・閉じ込め		
	空調	停止		
その他				

【参考⑨】訓練の種類

訓練名称	概要	実施目安	実施予定日	実施日
避難訓練	実際に定められた避難経路に沿って避難行動を実施する。 ※留意点1 津波想定区域については、津波避難訓練も併せて実施する。 ※留意点2 大規模水害の場合は、垂直避難(2階避難、階上避難)と水平避難(避難所避難、高台避難等)の2種類の避難が想定されることに留意する。	年1~2回	()月()日 ()月()日	()月()日 ()月()日
消火訓練	事務所内にある消火器の扱い方や消火方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
水防訓練	大規模水害に備えた止水版・土嚢設置等の訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
応急救護訓練	応急手当の方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
救助訓練	下敷きになった人の救助方法や搬送方法等について訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
安否確認訓練	導入している安否確認システムの扱い方について訓練を実施する。	年1~2回	()月()日	()月()日
帰宅訓練(徒歩)	交通機関が遮断していることを想定し、徒歩での帰宅を実施する。	年1回	()月()日 ()月()日	()月()日 ()月()日
災害対策本部設置訓練	災害対策本部のレイアウト等を確認し、スムーズに本部が設置できるか訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
災害対策本部参集訓練	災害対策本部メンバーの参集ルールに従い、参集できるかどうか訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
通信機器操作訓練	導入している通信機器(衛星電話、IP無線等)の作動状況、操作方法等を確認する。	年1回	()月()日	()月()日
バックアップデータに関する訓練	バックアップしているデータや書類が利用できるか、バックアップ場所から取り出す訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日
図上シミュレーション訓練	ある災害シナリオを想定し、決められたルールに従って災害対応ができるか、シミュレーションにて訓練を実施する。	年1回	()月()日	()月()日

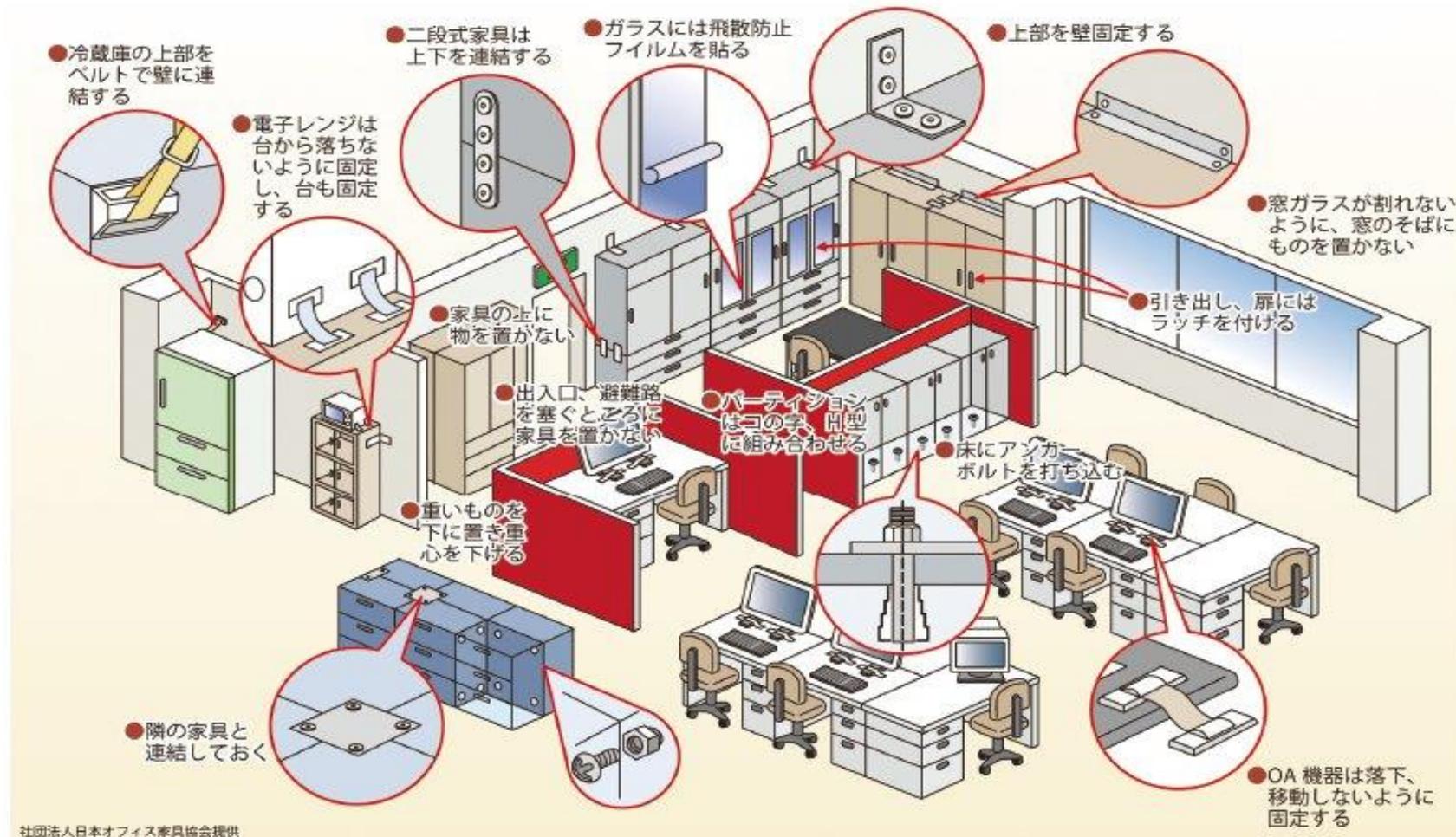
【参考⑩】地域のリスクの認識

下記URLのほか、国及び各市町村等が発表しているハザードマップ等を参考に、事前に自所を取り巻くリスクを認識しておきましょう

災害	調査項目	発行元	コンテンツ	URL	備考
地震	主要地震を調べる (規模・発生確率)	地震本部 (政府地震調査 研究推進本部)	長期評価	http://www.iishin.go.jp/evaluation/long-term-evaluation/summary/	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	震度分布を調べる (海溝型地震)	国土交通省	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
	震度分布を調べる (活断層型地震)	同上	同上	同上	
		防災科学技術 研究所	J-SHIS 地震ハザードステーション	http://www.j-shis.bosai.go.jp/map/	アプリあり 住所情報の活用
	津波浸水深を調べる	国土交通省	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j0l0u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
国土地理院		2万5千分の1 浸水範囲概況図	http://www.gsi.go.jp/kikaku/kikaku40014.html	東日本大震災の津波 浸水範囲	
水災	主要河川を調べる	国土交通省	川の防災情報	http://www.river.go.jp/kawabou/ipKozuiMap.do?areaCd=82&gameId=01-0401&fldCtlParty=no	スマホ版は位置情報 活用
	想定浸水深を調べる	同上	同上	同上	同上
		同上	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j0l0u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
火山	火山の危険エリア等を 調べる	国土交通省	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	
土砂災害	土砂災害の危険エリア を調べる	同上	重ねるハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/maps/?ll=38.479395,135.703125&z=3&base=pale&vs=c1j0l0u0	住所情報の活用
		同上	わがまちハザードマップ	https://disaportal.gsi.go.jp/hazardmap/	

オフィスの固定対策要領

オフィス家具等の転倒防止対策の例



社団法人日本オフィス家具協会提供

※東京消防庁「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック—室内の地震対策—平成24年7月」より

水災における事前対策

平常時の対策	
<p>施設管理</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 建物の修繕計画を策定し、運用している。 ・ 建物全体としての健全な状態を維持するためには、部材の適切な修繕・更新周期に基づいて計画的に工事を行うことが重要である。スレートや波状鉄板の更新周期は概ね30年が目安とされている。 ・ 劣化が顕著になる前の予防保全、修繕費用の把握、工事時期の調整などが可能になる。 ・ 部材の劣化状況によっては、計画より前倒しでの対応が必要となることも想定されるため、予定の前年などに専門業者による点検を行った上で、工事実施時期を判断することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> □ 建物の定期点検項目を明確にし、劣化や損傷、不具合の箇所を修繕・解消している。 □ 外装材のひび割れや穴 □ 外装材や屋外設置物の留め金具の錆や緩み □ 窓やシャッターのがたつき □ 雨漏り箇所 □ 屋上防水の劣化 □ 排水系統の詰まり □ 非常用発電機、排水ポンプの燃料補給・試運転 □ リスクが大きいと考える箇所に対策を施している。 □ 間柱・小梁による窓枠周りの補強 □ 窓ガラスへの飛散防止フィルムの貼り付け、あるいは強化ガラス・網入りガラスの採用、あるいは雨戸の設置 □ 中柱設置によるシャッターの二面化、あるいは重量のあるシャッターへの取換え □ スレート、鉄板などの外装材の留め金具の増設 □ 倒れそうな樹木の補強、あるいは除去 □ 浸水危険の小さい場所へのデータサーバーや重要書類の保管庫の設置 □ 重要データの複製 □ 受変電設備の嵩上げ □ 浸水センサー、風速計の設置
<p>資機材・備蓄品</p> <p>施設・収容品防護用</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 土のう □ 止水板 □ 防水シート □ バケツ □ パレット（保管品の嵩上げ用） □ はしご □ 針金 □ ロープ □ ガムテープ □ 排水ポンプ <p>人命安全確保用</p> <ul style="list-style-type: none"> □ ヘルメット □ 長靴 □ 手袋 □ 雨合羽 □ 懐中電灯 □ ゴムボート □ 担架 □ 拡声器 □ トランシーバー □ 従業員名簿 <p>事業継続・帰宅困難対応</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 非常用発電機 □ 非常食 □ 飲料水 □ 非常用トイレ □ 毛布 □ 簡易間仕切り（プライベート空間の確保） <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 配置図（建物や設備、保管品の設置場所が示されたもの） □ 危険箇所図（危険箇所が図面に示されたもの） 	<p>行動計画・マニュアル</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 事前防災行動計画（タイムライン）を策定している。 □ 災害のピークから逆算した時間軸での対策 例：台風最接近時を基準に、-48時間、-24時間、-12時間、-6時間、...、+3時間の実施事項の明確化 □ 対策実行のきっかけの設定 例：気象庁の各種注意報・警報が発表された際の実施事項の明確化 <p>訓練</p> <ul style="list-style-type: none"> □ 緊急時の行動基準・対応マニュアルを策定している。 □ 避難場所の設定 □ 安否連絡・確認方法 □ 設備の安全な停止方法 □ 事業継続計画（BCP）を策定している。 □ 中核事業の特定 □ 目標復旧時間の設定 □ 取引先との協議 □ 代替策の用意

何を 誰が

	A班	B班	C班	...
...				
対策3	○	○	○	
対策2	○			
対策1		○	○	

タイムラインのイメージ

※MS&ADインターリスク総研発行レポート(2015年8月)より抜粋

【対策例】

＜止水版の設置＞



出典：国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

＜土嚢の設置＞



出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

＜水嚢と板による簡易止水版＞



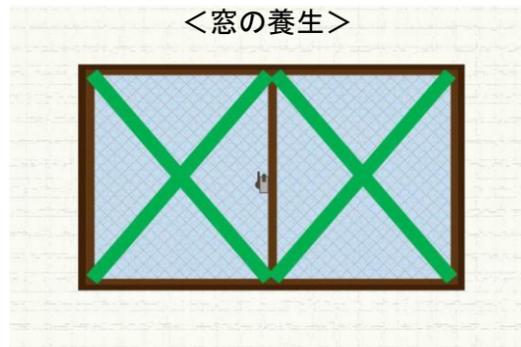
出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

＜排水路の確保＞



出典：国土交通省「家庭で役立つ防災」より引用

＜窓の養生＞



出典：天災インフォ.comより引用

＜排水ポンプの稼働＞



出典：国土交通省「浸水被害防止に向けた取組事例集」より引用

大規模水災害に関するタイムライン（防災行動計画）の流れ



※タイムラインに関わる関係機関、防災行動は多岐にわたりますが、本イメージ図は国土交通省の対応や広域避難と交通サービスに着目して整理したものであり、時間軸の設定、対応の実施などにあたっては、今後の検討、調整が必要になります。また、赤字は特に対応強化の必要と考えられる項目です。